

年度/Academic Year	2024
授業科目名/Course Title (Japanese)	ユーザー主導の情報システム要求定義
教員名/Instructor (Japanese)	鎌田 真由美
講義概要/Course description	
<p>変化する市場と社会環境において、情報システムはよりアジャイルな対応を迫られている一方、ユーザー企業がITベンダーに委託する日本の産業構造はいまだに大きな変化が見られない。さらに情報システム部門とビジネス部門の間の壁もまた、容易には超えられない状況が続いている。このため、ユーザー企業におけるISアーキテクトは、そのコンピテンシーとして、ユーザー企業が作りたい情報システムについて、ITベンダーと真のユーザーの両方との接点を持ち、情報システムのユーザー要求（user requirements）を明確に定義し伝えることが求められる。このコンピテンシーをADPISA受講生に理解してもらうことが本科目の目的である。</p>	
達成目標/Course objectives	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・DX時代の要求定義の難しさを理解する</li> <li>・基本的な要求定義の手法について知る</li> <li>・ユーザー側がユーザー要求を定義することの必要性</li> <li>・過去のベストプラクティス</li> <li>・ゲームやケーススタディによる要求定義の体験</li> </ul>	
講義回	
1	要求定義とは何か、その困難さ
2	要求定義で使われる手法やケース紹介
3	グループワーク： ケーススタディ or 要求定義体験（ゲーム）
4	チームによる発表と相互評価
5	今後の要求定義の方向
授業方法/Method of instruction	
対面およびグループワーク	
成績評価方法/Evaluation	
授業への参画 40%、グループワークの結果40%、振り返り（評価アンケート） 20%	
参考書/Reference books	
<p>要求工学概論(妻木俊彦、白銀純子：近代科学社)、要求工学知識体系 REBOK(一般社団法人 情報サービス産業協会、REBOK規格WG編：近代科学社)ソフトウェア工学の基礎（玉井哲雄：岩波書店）、ファクトフルネス（ハンス・ロスリング 日経BP社）ほか</p>	